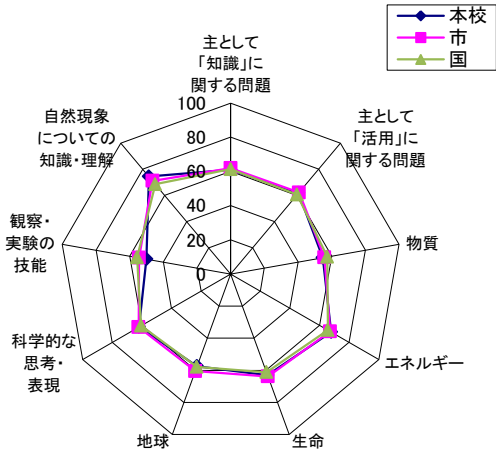


宇都宮市立横川西小学校 第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	60.9	61.9	61.3
	主として「活用」に関する問題	61.8	62.2	60.5
区分等	物質	54.7	55.7	57.4
	エネルギー	67.9	67.2	65.6
	生命	63.1	63.8	61.2
	地球	57.4	60.5	57.8
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	61.8	62.2	60.5
	観察・実験の技能	50.0	54.4	55.5
	自然現象についての知識・理解	74.5	71.1	68.6



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「理科の勉強が好き」「理科の勉強は大切」「理科の勉強はよくわかる」と答えている児童が多い。
○自然の中で遊んだ経験を持つ児童が多く、また、実験や観察を楽しみにしている児童が多い。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質	○「水蒸気の状態としてあてはまるものを選ぶ」の正答率が高い。 ○「振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書く」の正答率が高い。 ●「水の温度と砂糖が水に溶ける量とのグラフから、水の温度が下がった時に出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く」の正答率が低い。	・物質についての基本的な知識は定着しており、理科室での実験を楽しみにしている児童が多い。6学年では「水溶液の性質」を学習し、いろいろな水溶液の性質や金属を変化させる様子を追及することを通して、水溶液の性質について推論する能力を育てることを狙っている。学習の中に話し合い活動や自分の考えを書く活動を意図的に取り入れ、根拠を明確にして話す力を養っていく。
エネルギー	○「振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため、適切に条件を変えた振り子を選ぶ」の正答率が高い。 ○「電磁石の働きを利用した振り子が、左右に等しく揺れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、あてはまるものを選ぶ」の正答率が高い。 ●「電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ」の正答率が低い。	・5年で学習した「振り子」が6年の「てこ」につながり、「電磁石」は「発電と電気の利用」へとつながっていく。電磁石の学習では1人1人が電磁石を作って、楽しみながら様々な実験をし、その性質を理解してきた。発電の学習においても手回し発電機やコンデンサーを利用して実験を行うが、電気の学習はわかりにくいと感じている児童も見られることから、毎時間の学習のめあてや実験の目的を明確にして、学年の実態に応じて丁寧に学習を進めていく。
生命	○「メダカの雌雄を見分けるための観察する部分を選ぶ」の正答率が高い。 ○「生物の成長に必要な養分の取り方について、仲間分けした観点を選ぶ」の正答率が高い。 ●「インゲンマメとヒマワリの成長の様子や、日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く」の正答率が低い。	・メダカの飼育は5学年時に全クラスが学級で行ってきた。児童は大変関心を持って飼育活動に励み、深く印象に残った様子であった。一方植物の成長の学習については栽培場所の確保の問題もあり、関心が高まらなかった様子も見られた。6学年では「植物のつくりとはたらき」の学習で、でんぶんのでき方や水の通り道について扱うので、5学年の「花のつくり」の内容を復習しながら学習を進めていく。
地球	○「地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ」の正答率が高い。 ●「水が水蒸気になる現象についてその名称を書く」の正答率が低い。 ●「方位についての情報から観察している方位を選ぶ」の正答率が低い。	・「蒸発」という現象は理解できていても正しく書くことができなかった児童が見られた。科学的用語を正しく記述できるよう、理科の授業や自主学習ノートの添削を通して復習していく。また、「方位」の感覚がなかなか持てない様子の児童も見られる。6学年で学習する「月と太陽」の中で、方位について復習し、定着を図っていく。